**第７４回の卒業生（１組）**

**University of British Columbiaの研修企画のご案内**

**== 中学・高校教師のための英語教育国際研修プログラム==**

**上田高校・立教大学出身の久保田竜子教授が責任者です。**

**《現職教員に、積極的にお薦めください　》**

渡邉　時夫　（信州大学　名誉教授）

1. **はじめに**

ご存じの通り、我が国では英語の使用力育成に力を入れ、将来国際社会で英語を自由に使って活躍できる人材育成のため、小学校3年生から「外国語活動」として、また5，6年生からは教科として、英語教育を進めています。その成果は、着実に表れていると思います。

　ただ、児童、生徒の英語使用力を十分伸ばすために必要不可欠な条件である「英語教師自身の英語力」が、残念ながら不足している点が指摘されています。文科省、教育委員会、大学、英語教育学会などが主体となって、英語教師の指導力育成の研修会が様々な形で実施されてはいますが、残念ながら、時間的にも、内容の点でも、不十分であることは周知のとおりです。このような状況下で、思い切って英語国にわたり、充実した英語力育成のための研修会に参加したいと願っている教師、英語教育志望の学生たちは決して少なくないと思います。

　カナダのBritish Columbia 大学教育学部では、このような人々の希望を叶えるため、素晴らしい研修会を企画いたしました。

　教育現場の先生方や大学等で学ぶ英語教師志望者に、この研修会を広く知っていただきたいと思います。また、全国の市町村や大学等の皆様に、英語教育改善に燃える人々のために、財政面においてもご支援をいただき、この研修会参加への道を開いていただきますよう、お願いいたします。

**２.研修会の企画責任者**

　実は、このBritish　Columbia大学の企画の責任者は、

久保田　竜子　教授）です。

久保田氏は、　長野県上田市出身で、上田高校、立教大学を卒業後、長野県の中学校で英語教員を経験後、アメリカとカナダの大学院で学びDr. 取得。North Carolina 大学チャペルヒル校で教えた後、現在, University of British Columbia 教授。全米の応用言語学会会員（現在副会長。3年後同学会会長の予定）。英語教育、言語、文化に関する著書多数（『英語教育と文化・人種・ジェンダー』『グローバル社会と言語教育---クリティカルな視点から（くろしお出版』　『英語教育幻想』（ちくま新書）　など）。中部地区英語教育学会を初め、様々な学会等で講演している。渡邉時夫の上田高校教師の頃の教え子で、久保田氏の教員時代から留学のお手伝いを含め研究等について現在まで関係が続いている。

　将来の優れた英語教育の指導者を育成のため、学生や現職教員の皆さんが、この機会を逃さずご参加されますよう強く希望いたします。また、教育委員会、大学、各県、市町村などが、積極的にご支援くださいますよう、強く希望いたします。

**研修会についての詳しい説明は添付資料をご覧ください。**

**ご参考までに、研修会の主な点を簡潔にご紹介いたします。**

1. 主催：British Columbia 大学教育学部の言語・リテラシー教育学科とEnglish Language Instituteの共催
2. 対象：現職の中・高英語教員、および英語教師志望の学生。（多くの国々から募集しています。国際的な雰囲気の中で学ぶことができます）
3. 応募資格: 英語力は例えば英語検定準1級以上
4. 現地研修3週間と事後のオンライン研修が12週間の1年プログラムです。

**（注）**

資料にも触れておりますが、この研修を通して、世界各国の中・高英語教員と交流する機会が得られるので大変有意義な研修となります。

1. 経費の内容は下記の通りです。（最近のレートにより算出いたしました）
   1. 授業料 250,000円
   2. 健康保険料　 8,300円
   3. ホームステイ　斡旋料　28,000円
   4. ホームステイ　1泊　　 3,700円　（23日間で 85,100円）
   5. 空港出迎え費用　　　　　7,300円

**合計　 378,700円　（渡航費を入れると50万円ほど）**

**（お願い）**

　　　上記説明等について、ご質問がありましたら、下記にメールでお願いします。

　　　久保田　竜子　[**ryuko.kubota@ubc.ca**](mailto:ryuko.kubota@ubc.ca)

または、

渡邊　時夫 <tokiwata@alto.ocn.ne.jp>